特集

小学校進学を考える
～海外生・帰国生を歓迎する小学校～

海外で暮らす在留邦人は約130万人に上り、シンガポールをはじめ世界各地で多くの日本人の子どもたちが学んでいます。海外で生活するご家族の中には、「帰国後に備えて何を準備すべきか」「現地での体験や英語力をどう生かすか」と疑問に思う方もいるでしょう。また、中高進学に比べて情報が限られている「小学校の進路選び」に悩む保護者の方も少なくありません。そこでSpringでは、海外生・帰国生を歓迎する日本の小学校の取り組みをご紹介します。帰国生に寄り添ってきた先生からのアドバイスも、ぜひご一読ください。



「小学校の取り組み」や「英語」「日本語」に関するアドバイス

- 学芸大附属大泉小学校
- 啓明学園初等学校
- サレジアン国際学園小学校
- 昭和女子大学附属昭和小学校
- 東京都立立川国際中等教育学校附属小学校
- 東京農業大学稲花小学校
- ローラス・インターナショナルスクール・オブ・サイエンス

前回の特集はこちら

日本人が多く暮らす国・地域

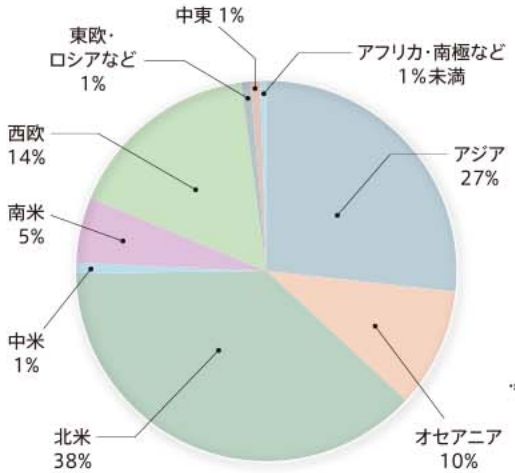
2000年に約52万人だった海外在留邦人数は、過去25年間で大幅に増加し130万人に迫る勢いです。国別および地域の割合は下記の通りです。

■ 海外在留邦人数 国別トップ10

		人 数
1	アメリカ合衆国	416,380
2	オーストラリア	105,566
3	中国(香港を含む)	92,928
4	カナダ	75,316
5	タイ	72,113
6	イギリス	62,270
7	ブラジル	49,037
8	ドイツ	44,648
9	フランス	36,023
10	シンガポール	33,397

2025年12月26日発表 外務省「海外在留邦人数調査統計 令和7年(2025年10月1日現在)

■ 地域別 在留邦人数の割合





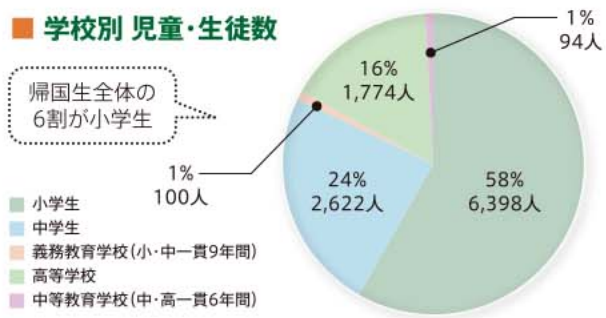


企業駐在のほか、就業・移住・教育のための中長期滞在者も。

毎年6,000人の小学生が帰国

■ 学校別 児童・生徒数

帰国生全体の6割が小学生



文部科学省2024年度「学校基本調査」をもとにSpringがグラフ・表を作成

文部科学省「学校基本調査 2024年」の統計によると、日本へ帰国する小学生(児童)および中・高生数は10,988人でした。そのうち小学生は毎年約6,000人帰国し、全体の6割を占めます。都道府県別の受け入れ状況を見ると、東京都が特に多く、神奈川・愛知・千葉・大阪などの大都市圏がそれに続きます。

帰国小学生全体の8割が10の都府県に帰国している

■ 帰国する小学生(児童)数 都道府県別 ランキング

		人 数
1	東京	1,823
2	神奈川	887
3	愛知	752
4	千葉	474
5	大阪	273
6	埼玉	269
7	兵庫	226
8	静岡	214
9	茨城	131
10	京都	117

日本語のサポートを必要とする子どもたち

海外で培った豊かな国際感覚や語学力・多様性への理解は、子どもたちにとってかけがえのない財産です。一方、帰国時に際しては、「日本の環境への適応」と「海外で身につけた力の保持・伸長」という二つの課題に直面します。特に言語や学びの基礎を築く小学校では、帰国後の成長を見据えた学校選びが重要な意味を持ちます。

昨今では海外滞在中に現地校やインターナショナルスクールに通う子どもが増加しています。そのため、帰国後、日本語で授業を理解し、学習を進めるための力が十分に身についておらず、補習などが必要となるケースもあるようです。学校を選ぶ際には、学習のサポート体制などにも目を向けることが大切です。

■ 日本国籍で「日本語指導が必要な児童生徒」も公立校で増加



2024年8月の文部科学省の報道発表をもとにSpringが作成

帰国したご家族に聞きました。

どのように進学先を決めましたか？

実際に帰国したご家族は、さまざまな情報を集め、多角的な視点から進学先を決めていました。学校そのものの特色だけでなく、通学環境や地域の教育事情にも目を向けることが大切です。

公立校

「学童や英語保持教室、お稽古に通いやすい立地か」「自治体が英語教育を重視しているか」など、地域ごとの教育環境や特色を調べました。



私立・国立

1年生の入試だけでなく、学年ごとの定員の募集状況や編入試験の実施時期などを定期的に確認しました。一時帰国の際には、学校見学にも足を運びました。



インターナショナルスクール

将来、再び海外に滞在する可能性や、日本語をどのように維持するか、さらに将来の進路や経済的な負担なども考慮し、家族で話し合いました。





入試・編入の時期や出願条件

帰国生・海外生を対象にした小学校入学試験や編入試験は、日程や出願条件がさまざまです。一例として、以下4校の詳細をご参照ください。

啓明学園初等学校

- 随時編入可能。指定された日程で帰国困難な方には、別途日程を設定可能。
- 2027年度入学試験は右記の通り。第3回：2026年12月　4日（金）面接、　5日（土）考査
  第4回：2027年　1月15日（金）面接、16日（土）考査
- 国際編入試験は右記の通り。　第3回：2027年　3月　8日（月）面接、16日（火）考査

昭和女子大学附属昭和小学校

- 出願資格は1年以上継続して海外に在留していること、あるいは1年以上継続して海外に在留し帰国後1年以内。
- 試験時期は7月または2月に若干名募集。
- 欠員時、1～4年で編入可能。

サレジアン国際学園小学校

- 募集する学年や人数、試験日程が年度によって異なる。
- 2027年度については、インターナショナルクラスの教室拡充に伴い、小学2年生への転編入を募集中。募集人員は15名、出願期間は2026年11月25日（水）から12月5日（土）、試験日は12月22日（火）。
- 選考では、英語・算数・国語の学力試験、グループ活動、WEB親子面接を実施。国語は日本語で、英語と算数は英語で出題。
- 2027年度以降の編入学についても、募集する学年や実施時期など最新の募集要項をご確認ください。

ローラス・インターナショナルスクール・オブ・サイエンス

- 帰国時期に合わせていつでも入学可能。空き状況をお問い合わせの上、入学のタイミングなどご相談ください。
- 海外在住時に個別対応にてオンラインで受験可能。
- 入学手続きも帰国前に可能。

ご家庭で「帰国後に何を最も大切にしたいか（日本語の定着、英語力の保持、のびのびとした環境、小中高一貫の学びなど）」を話し合ってみましょう。



関連記事はこちら

◇ 帰国後の英語保持どうする？…… https://www.spring-js.com/global/5304/
◇ 国際教育プログラムの学校を探す
日本の国際バカロレア（IB）枚一覧…… https://www.spring-js.com/global/5389/
IB初等教育プログラム（PYP）とは？…… https://www.spring-js.com/global/5390/
ケンブリッジ国際とは？…… https://www.spring-js.com/global/6870/
◇ 帰国後の体験談…… https://www.spring-js.com/overseas-student/
◇ 日本の学校一覧（小・中・高・インター 検索）…… https://www.spring-js.com/japan/school/

私立・国立・インターナショナルクールの詳細は次ページをご覧ください。

必見！ 先生からのアドバイス「日本語と日本人らしさの育み方」「英語力」「帰国に向けた準備」

昭和女子大学附属昭和小学校

https://es.swu.ac.jp/admission/

〒154-8533 東京都世田谷区太子堂 1-7-57

+81-3-3411-5114

日本の小学校(一条校)初の ケンブリッジ国際認定校

『世の光となろう』というスクールモットーのもと、子ども園・小学校は共学、中学・高校・大学は女子の一貫教育を提供しています。2024年の小学1年次から、英語イマージョン教育を実施する「国際コース」と、探究学習の伝統と充実の英語教育を行う「探究コース」の2コースが新設されました。日本語と英語での確かな読解力・思考力と、世界で活躍できる表現力・発信力を育成し、主体性を使い「自分リーダーシップ」※を発揮できる子を育みます。

※何があっても、どんな場面でも、自分の良さや可能性を信じ、自他の向上のために影響を与え、ともに高まり合って自らの生き方を作っていく力。





女子児童のうち8割が附属中学・高校へ進学、男子児童は首都圏の私立中学などへ進学。

授業の6割を英語で学ぶ「国際コース」

学習指導要領と親和性が高く、世界的に実績がある「ケンブリッジ国際」を採用。国語・道徳・社会は日本語で、算数やその他の科目は少人数制で「英語イマージョン」教育を行う。1クラス36名に、バイリンガルの日本人教員1人、外国人教員2人の3人担任制。

国語



日本人教員が丁寧に指導。

パーテーション設置



英語イマージョンでは、クラスを2つに分け少人数制に。

英語(ELA)



「読む・書く・聞く・話す」4技能を磨く。

国際コース1日の時間割例

□ 日本語による学習
□ 英語による学習

8:20	富士山登山マラソン、朝の会
8:40	モジュール学習
8:55	道徳
9:45	国語
10:30	軽食休み、パーテーション設置
10:45	English Language Arts(クラスを2分割)
11:35	Mathematics(クラスを2分割)
12:20	給食準備・給食
13:20	Life Science(クラスを2分割)
14:10	Music
15:00	帰りの会
15:15	下校・清掃活動
15:35	アフタースクール
19:00	終了

※Art、PE(体育)は、1クラス単位で実施。



国際コース生全員が昭和ボストン研修に参加予定。

教科を横断した探究的な学び、英語も充実「探究コース」

「言葉と体験」の往還を重視し、STEAMS教育※を進め、今後のAI社会に必要なスキルやリテラシーを養う。音楽・図工・体育を日本語と英語で指導する「e-MAP」や他教科連携学習で、英語教育も一層充実。児童主体で行われる「昭和っ子の研究」(総合学習)や、宿泊体験学習では、協調性・粘り強さ・行動力・創造性など幅広い非認知能力を育成。



運動の指導は日本語で、掛け声やカウントは英語で。



5・6年生はTOEFL Primaryに挑戦。



帰国生の英語力保持も。



※Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学)、Mathematics(数学)、Art(美術)、Sports(スポーツ)を融合した学び



構内には、The British School in Tokyo SHOWAやテンプル大学ジャパンキャンパスなども。

昭和小学校アフタースクール(学童保育)

学園の充実した施設を活用しながら、経験豊かなスタッフのもと昭和小学校の教育方針を踏襲して児童の能力と個性を伸ばす。

Lead yourself「自分リーダーシップ」で豊かな成長を支えています。



校長 前田 崇司

近未来を含めたこれからの時代を見据え、本校ではさらなる進化を目指し新たな実践に取り組みます。リーダーシップ教育を基盤に、低学年からの英語教育の拡充やSTEAM教育の推進など、先駆的なカリキュラムに取り組みます。

昭和小学校は「国際化」を加速させています。



昭和女子大学 総長 坂東 眞理子

昭和小学校は2024年から「探究コース」と「国際コース」がスタートしました。どちらのコースも世界で通用する人材となるため、国語の読解力や表現力など日本人としての教育もしっかり行います。グローバルに活躍する人材を育てるさまざまな体験、学習の機会を充実させていきます。



学校説明会日程(予定)

事前予約制、詳細は3月以降本校ウェブサイトをご覧ください。

校舎見学ツアー……随時
説明会・体験授業……4月・5月・6月
説明会・個別相談会……9月

※個別見学も可能です。直接お問い合わせください。

入試日程(予定)

出願時期……10月初旬
❶ 親子面接……10月の土日
※国際コースを希望される場合は、お子さまに対して英語での面接があります。
❷ 発育調査……11月初め

啓明学園初等学校

https://www.keimei.ac.jp/global/

〒196-0002 昭島市拝島町 5-11-15
+81-42-541-1003(代) e-kokusai@keimei-std.jp

「国際プログレスクラス」や「英語特進クラス」を設置し国際生を歓迎

1940年、帰国子女教育のための学校として開校。全体の3割が国際生で、海外からの児童がなじみやすい「アットホームな国際社会」です。



「粒揃い」より「粒違い」

校長 夏坂 真澄



詰め込み教育で均一な優等生をつくりだすのではなく、個性を育て、社会で活躍できる「生きる力」を育てる学校でありたいと思っています。

https://www.keimei.ac.jp/primary/about/message/





■ 少人数教育で、自発的・協働的に学ぶ

英語教育は習熟度別に3〜10人程度、帰国生向けの国語と算数は、3〜5人程度の少人数教育できめ細やかに指導。自ら学ぶ、ともに学ぶことを重視し、1〜6年生の「縦割り活動」も実施。

■ 体験が知識を知恵に変え、学びの意欲を高める

体験活動後、必ず「振り返り」を行う。体験を言語化することによって子どもたちは知恵を磨く。

■ 論理的に考える習慣をつける

国際社会で必要な論理的思考力をつけるため、英国の「トゥールミン・モデル」をベースにした「4点セット(主張、根拠、理由づけ、類推)」の教育を実践。

入試日程・概要

2027年度 入学	第3回:2026年12月 4日(金)面接、 5日(土)考査 第4回:2027年 1月15日(金)面接、16日(土)考査
国際編入試験	第3回:2027年 3月 8日(月)面接、16日(火)考査

※随時編入可能。上記日程で帰国困難な方には、別途日程を設定可能です。お気軽にご相談ください。

学校説明会日程

説明会・入試情報はウェブサイトをご参照ください。
https://www.keimei.ac.jp/global/primary/information/

サレジアン国際学園小学校 インターナショナルクラス

https://www.el.seibi.ac.jp/ 〒115-8524 東京都北区赤羽台4-2-14
+81-3-3906-0222 primary@salesian.seibi.ac.jp

小中高一貫校で世界を目指す

世界98ヵ国で教育活動を行うサレジアン・シスターズの系列小学校が、2026年インターナショナルクラスを開設しました。英語で学校生活を送り、「シンガポール算数」や教科横断型学習を通して考える力を育みます。

進化が早い時代だからこそ 十数年後の社会を見据えた学びを

学園長 大橋 清貫



本校が目指すのは「21世紀に活躍できる世界市民力の育成」です。正解の再現を重視した従来の学びから脱却し、「自ら考えて判断できる、意見を持てる、行動できる人」を育む新しい教育環境を作りました。12年の一貫教育で確かな思考力と協働する力を育みます。

■ 授業は英語、担任は外国人教員

ほぼ全ての授業を外国人教員が英語で実施。英語力はもちろん、頻繁なプレゼンテーションや「なぜそう考える?」と問い続ける授業を通して思考力・発信力を伸ばす。

■ 一条校としての確かな国語力

日本の学習指導要領に則って年齢相応の国語読解力・表現力をしっかりと指導。清掃やマナーなど日本人としての文化・常識もバランスよく身につける。



■ 小中高12年一貫教育とその先の進路



同じ英語環境・教育方針の中高のインターナショナルコースへの内部進学制度があり、高校ではオーストラリアの高校卒業資格(WACE)の取得も可能。卒業後の進路では、国内・海外大学どちらも選択できるように支援。

入試日程・概要

新1年生入学試験(帰国生入試あり)	出願:10月上旬〜12月下旬 試験:10月下旬〜 1月上旬

転編入に関する情報

教室拡充に伴い、2027年度2年次編入学試験を実施します。
募集人数:15名
出 願:2026年11月25日(水)〜12月5日(土)
試 験 日:2026年12月22日(火)
※面接はオンライン可能、試験は学校でのみ実施。
2019年4月2日以降に生まれたお子さまのみ、学年の設置があります。
2027年以降の編入学試験は、決定次第ウェブサイトにて公開予定。

学校説明会日程

例年3月・6月・9月に実施。
※海外在住の方は一時帰国の際に学校見学も可能です。メールにてご連絡ください。

東京学芸大学附属大泉小学校

https://www.es.oizumi.u-gakugei.ac.jp

〒178-0063 東京都練馬区東大泉 5-22-1
+81-3-5905-0200 kikunoko@u-gakugei.ac.jp

国際教育のトップランナーとして「グローバル社会に生きる力」を育みます。

世界的に定評ある「国際バカロレア」プログラムと日本の「学習指導要領」を融合した学びと、充実した体験学習でグローバルな視野と広い心を育みます。

国立小学校初の「国際バカロレア認定校」

「国際バカロレア初等教育プログラム（PYP：Primary Years Programme）」認定校として、教科の枠をこえたプログラムを提供。1年生から探究した内容を発表する機会も設け、自主性や探究心を伸ばしていく。本校はPYPと学習指導要領を融合した教育課程の開発に取り組む「教育課程特例校」である。

「国際学級」で国際社会でも活躍できる心と学力を育成



3～6年生を対象に「国際学級」を設置。個々の能力に応じて生活面と学習面の指導を行い、日本の学校教育や伝統・文化への適応・理解を深める。同時に、海外での生活や学校の様子などを一般学級の児童に伝える機会も設けることで、一般学級の児童と互いに良さを認め、伸ばし合う。

体験を重視した行事で「子どもたちの健やかな成長」を促す



4～6年生の移動教室（宿泊学習）では、現地の講師を招いての体験活動を取り入れている。5・6年生は臨海学校を実施して、仲間との絆を深め心身ともに逞しく成長する。また、縦割り活動「生活団」では畑で野菜作りの活動をしたり、年1回の遠足に行ったりするなど、学年の枠を超えて支え・学び合うことから「もうひとつのクラス」と呼ばれている。

歴史ある国際学級で帰国生が楽しく学んでいます。



校長 青山 直志

本校は昭和41年からユネスコの「国際理解と国際協力のための教育」共同学校として研究を進め、44年には帰国児童教育学級を開設しました。現在は、3～6年の各学年に「ゆり組」という国際学級を設置し、海外より来日・帰国した子どもたちが楽しく学んでいます。今後は、国際学級と一般学級の子どもたちが互いに刺激し合い協働する環境をさらに充実させます。世界の異なる文化を理解できるような学習の場を拡大することで、グローバル社会において将来活躍できる子どもたちの育成を目指しています。

入試日程・概要

入試日程（1年生）

募集要項購入……毎年9月 ※外部サイトより申し込み
第1次選考（抽選）……10月中旬
第2次選考（総合調査）……11月下旬

編入

3～6学年対象の「国際児童学級」の募集は年2回（4月・9月）実施。ただし、国際学級の定員を越えた場合は募集を行わない場合あり。1、2学年は年に1回（9月）一般学級への編入学調査を実施。

東京都立 立川国際中等教育学校附属小学校

https://tachikawa-e.metro.ed.jp

〒190-0012 東京都立川市曙町 3-13-15
+81-42-524-3903（代表） +81-42-526-7075（附属小）

東京都立小・中・高の12年間一貫教育校で「自立」の心を伸ばします。

児童・生徒一人ひとりが持つ資質や能力を最大限伸長させると共に豊かな国際感覚を養い、世界で活躍し貢献できる力を育みます。

教育課程特例校として「一歩進んだ英語教育」を提供

中学校・高等学校までの一貫教育の利点を生かし、外国語の活用力を着実に向上。小学校第1学年から英語の授業を週4時間実施。2クラスを習熟度別に4クラスに分ける少人数指導で、外国人講師と共に「聞く・読む・話す（やり取り・発表）・書く」の基礎から学ぶ。海外姉妹校との交流活動も積極的に推進。

文理を融合した「リベラルアーツの学び」



「豊かな心を育む体験活動の充実事業」実施校として自らの感覚や行為により実感・体感する多様な体験機会を提供。児童・生徒の積極性や協調性、コミュニケーション力や他者理解、興味・関心や感性など、豊かな心の育みにつなげていく。リベラルアーツを実施する本校では、身近なものをテーマに科学の不思議な現象を楽しく学べる体験を実施。

卒業20年後を見据えた「キャリア教育」

国際社会の一員として「どのように社会に関わっていきたいか」「どのように関わっていくべきか」を考える価値観を形成。多様な交流や体験活動を通じて自分のよさや得意なことを見つけ、自分の果たすべき役割を知り、協働する力を伸長。夢や希望を実現するために、自己決定できる力を育成する。



逆向き設計のデザインで「考える人」「伝える人」「行動する人」を育てます。



校長 横田 雅博

私たちの教育の究極の目的は「自立」です。教育の理想を達成するために必要な教育内容や教育方法を、教育理念と生徒の将来像から俯瞰し、逆向き設計でデザインしています。本校では、知育・徳育・体育の調和の取れた育成を目指し、本校で学ぶお子さまが人格を陶冶し、自立した学習者となって、勇気をもって自ら道を切り拓き、より広い世界へ羽ばたいてほしいと考えています。本校で身につけた資質・能力を思う存分に発揮して、卒業後も学び続け、より良い世界の構築に貢献してほしいと期待しています。私たちも常に学び、全力でお子さまと関わります。

入試日程・概要

「海外帰国・在京外国人児童枠」募集
抽選と適性検査にて決定します。

第1次（抽選）……10月中旬
第2次（適性検査）……11月上旬
第3次（抽選）……11月上旬

学校説明会日程

本校のウェブサイトをご確認ください。

東京農業大学稲花小学校

https://www.nodaitoka.ed.jp/

〒156-0053 東京都世田谷区桜 3-33-1
+81-3-5477-4115 toka@nodai.ed.jp

毎日の英語授業と多様な体験学習で、「生涯につながる力」を伸ばします。

「3つの心（感性・探究心・向上心）」と「2つの力（コミュニケーション力・体力）」の向上を通じて人生を生き抜く「冒険心」を育成します。



教育指標「10の能力」に基づいた学習指導計画

各教科の知識・技能だけでなく、「興味・関心」「想像力」「問題解決能力」をはじめとする「10の能力」が身につくようカリキュラムを構成。

※詳細は当校ウェブサイトをご覧ください。

全国の施設で充実した「体験学習」

「厚木キャンパス」、「北海道オホーツクキャンパス」、「伊勢原農場」、「富士農場」や「宮古亜熱帯農場」など日本各地にある東京農業大学の施設を活用し、多様な体験型学習を実施。子どもたちが主体的に関わり「なぜ？」「どうして？」と考え、深く理解することを重視。体験を通じて「10の能力」の育成を促進し、考える力と学びの基礎力を向上させる。

毎日の英語授業で段階的に英語を習得

ネイティブの外国人講師による「英語」の授業を1年生から毎日実施。1クラスを2グループに分け、「英語で感じ、考え、表現する力」を育成し、自分の思考を英語で伝える能力の獲得を目指す。家庭での反復学習時や長期休暇中にも取り組めるようオンライン教材も活用。また、毎日の給食は各国の食文化を学ぶ機会と位置づけ、日本の郷土食や行事食だけでなく、多国籍のメニューも提供。

「生きる力」を育む教育・環境をご用意しています。



校長 杉原 たまえ

135年の伝統と歴史がある東京農業大学が扱う「農学」は、「自然・食・地球環境」をテーマとし、人々の生活に身近で生きていくために大切な内容を扱っています。その学びは、小学校教育にも生かせると考え、2019年4月に本校を開校しました。大学のキャンパスや全国にある実験・実習施設には、専門的な設備や人的資源が豊富にそろい、多くの卒業生と連携している企業もあります。それらを活用することで、子どもたちが「生きるために必要な力」を育くむ教育が実現できると考えています。小学校の名前に含まれた「稲花」は、東京農業大学の「大学の花」でもあります。子どもたちが1本の穂に 200粒近い「コメ」を実らせる稲のように、さまざまな力と可能性を育んでいくことができたらという願いが込められています。

入試日程・概要

入試日程	出願期間……10月上旬　試 験 日……11月上旬 事前面接……10月中　合格発表……11月上旬
転入・編入	本校ウェブサイトをご確認ください。

学校説明会日程

本校ウェブサイトをご確認ください。

ローラス・インターナショナルスクール・オブ・サイエンス

https://www.laurus-school.com/ja

〒108-0014 東京都港区芝 4丁目1-30 芝国際ビル 7-10階
+81-3-6722-6310

**日本で唯一のサイエンスインターナショナルスクール
プリスクールから高等部までの一貫教育**

少人数精鋭による探究型・プロジェクトベースのカリキュラムで、グローバルに活躍できる人材を育てます。

イノベーターを育成する「理系に強い教育」

21世紀において、子どもの潜在能力を最大限に引き出すために不可欠なSTEM教育。早いうちから実験や探究型学習を通してサイエンス思考へと導く。

国語／日本語の授業も充実

本校独自の「STEMカリキュラム」と「ケンブリッジ国際カリキュラム」

CAMBRIDGE International Education
Cambridge International School

科学の視点でSTEM分野での競争力を身につけさせると同時に、バランスの取れた教育を提供。独自のカリキュラムと学習アプローチは、クリティカル・シンキング、情緒・社会性、健康な身体を育む。



一人ひとりに合わせたプロジェクトベースの学習と指導



教室での授業に加え、サイエンスや芸術など生徒が情熱を持つ分野を探究する機会とリソースを提供。生徒一人ひとりの興味や好奇心に沿ったプロジェクトに取り組めるよう、メンターシッププログラムやさまざまなアクティビティを用意。

未来のイノベーターを育成
日本でも数少ない ケンブリッジ大学国際教育機構（ケンブリッジインターナショナル）認定校



校長 Donna van Heyningen

本校は、日本で唯一の「サイエンス・インターナショナルスクール」として、最新鋭の施設を有し、各分野のプロフェッショナルである教員たちが生徒たちを成功へと導いています。2025年9月には高等部が開校し、IGCSE・A-Levelsに向けた学習に向けスタートしました。カレッジカウンセラーもおり、海外大学進学に向けて羽ばたく生徒を全力でサポートします。

入試日程・概要

新 学 期：9月
試験内容：学力考査・保護者面接
※中高等部はエッセイもあり
初 等 部：10月上旬　中高等部：個別考査

3月で卒園したお子さまは、新学年が始まる9月まで初等部で行われる「準備コース」に参加し9月を迎える。



学校説明会日程（予定）

初 等 部：5～6月に翌年9月入学対象の説明会を実施
中高等部：11～5月に翌年度入学対象の説明会を実施
いずれも日程が合わない場合は個別に実施。スクールツアーをご予約いただき本校にお越しください。

転入・編入

随時。まずは、ご入学希望の学年に空きがあるかお問い合わせを。

Springが海外生・帰国生を歓迎する学校に聞きました。

サレジアン国際学園小学校



久保 敦 副校長

海外生活での「日本人としての素養」や「日本語の育み方」

日本語とともに、日本の文化的背景や価値観を理解することが大切です。日本人としてのルーツや伝統は、日本の季節行事や食文化などから親しむことができます。特に幼児期は家庭での日々の暮らしが、日本人らしさや日本語力を育む重要な役割を担います。読み書きを無理に教えず、会話や絵本を楽しみながら、「なぜ？」「どうして？」という疑問に一緒に向き合ってください。日本語で気持ちや考えを表す力が、将来の学びの土台になります。異文化と比較することで、日本人らしい思いやりや感謝の心にも目を向けましょう。

幼児期の海外生活で留意すべきことと、「英語力の育み方」

幼児期は、言葉だけでなく、人との関わり方や物ごとへの興味、考える力の土台が育つ大切な時期です。英語の習得そのものを急ぐよりも、子どもが安心して生活し、さまざまなことに興味を持てる環境づくりを意識しましょう。英語力を育むうえでは、例えば公園で見つけた虫について親子で調べる、買い物をしながら数や色を英語で表現する、現地の友だちと遊ぶなど経験を積みましょう。単なる知識としてではなく、さまざまな人と関わり自分の考えを伝える中で英語力を育むこと、そして周囲の子どもと英語力を比較するのではなく、「学ぶことの楽しさ」を一緒に味わっていただきたいと思います。



サレジアン国際学園小学校

啓明学園初等学校



夏坂 真澄 校長

海外生活での「日本人としての素養」「日本語の育み方」

言語の習得は、ことばに触れる時間の量と質に関わります。いろいろな人と日本語で会話する時間を多く持つこと、そして本をたくさん読むことが大切です。

幼児期には日本の童謡を聴かせ、歌詞の意味を考えることが良いと思います。日本の童謡は美しい日本語であり、そして日本人の感性が凝縮されています。

「幼児期の海外生活で留意すること」と「英語力の育み方」

抽象的な思考ができるようになり、「思考言語」として確立するのは10～12歳です。この年齢までに複数の言語を中途半端に学ぶと、いずれの言語も母語のレベルに達しない「セミリンガル」になりかねません。「思考言語」を何の言語にするのかを決め、その「思考言語」を学ぶ時間を多く確保することが必要です。

赤ちゃんが最初は「聞く」だけから「話す」ようになるのと同様に、言語の獲得は、聞く→話す→読む→書く、というステップですすみます。日本語を「思考言語」とする場合、10歳くらいまでは、英語については「聞く」「話す」を中心に学ぶことが良いでしょう。

ローラス・インターナショナルスクール・オブ・サイエンス



Donna van Heyningen 校長

コミュニケーションとアカデミックな学びのための英語を

インターナショナルスクールで学ぶためには、日常会話で使う英語力だけでなく、授業を理解し、自分の考えを伝えるためのアカデミックな英語力を身につけることが大切です。日頃から英語で本を読んだり、興味のあるテーマについて調べたりしながら、新しい語彙や表現に触れましょう。また、学んだ内容を自分の言葉で説明し、意見を伝える練習も効果的です。こうした積み重ねが、専門的な情報を読み解く力や、複雑なテーマについて考える力、批判的思考力、リサーチ力の向上につながります。将来、国内外の大学で学び、STEMやアントレプレナーシップなどの分野で活躍するためにも、英語を使って学ぶ習慣を身につけていきましょう。

昭和女子大学附属昭和小学校



前田 崇司 校長



国際コース長
近藤 真司 先生



探究コース長
工藤 豪 先生

海外生活での「日本人としての素養」や「日本語の育み方」

まずは正しい日本語を親が話すことです。言語は、アイデンティティであり、その国を象徴する大切な文化です。親御さんが正しい日本語を使い、子どもの目を見て話しかけてあげてください。家庭では、会話や読み聞かせを大切にし、自分の考えや気持ちを日本語で表現する機会を積極的につくりましょう。また、日本の伝統行事や季節ごとの文化に親しみ、日本のよさを知ることも重要です。異文化を尊重しながら、自国の文化にも誇りをもつことが、将来、国際社会で活躍するための大切な基盤となります。

「幼児期の海外生活で留意すべきこと」と「英語力の育み方」

幼児期は、体験を通して言葉を習得していきます。また、豊かな感性やコミュニケーション能力を育む大切な時期です。海外生活では、現地の友だちとの遊びやさまざまな体験を通して英語に親しむことが重要です。英語を話すことへの自信を育むためには、間違いを恐れずに表現できる環境づくりが欠かせません。家庭では日本語も大切にしながら、子どもの興味や関心を尊重し、二つの言語を豊かに育んでいくことが望まれます。

帰国に向けた準備・帰国時のサポート方法

啓明学園初等学校

夏坂 真澄 校長

- 日本語力をあげておく。
- 日本で話題のアニメなどを観ておくなど、帰国後の子どもの社会に溶け込むベースを作る。
- 帰国後には、毎日学校で楽しかったことや、大変だったことなどを話し、保護者と子どもが同じ気持ちで生活になじんでいこう。

帰国生の保護者が作成した「帰国生のためのサポートブック」をご参照ください。

昭和女子大学附属昭和小学校

前田 崇司 校長
国際コース長 **近藤 真司** 先生
探究コース長 **工藤 豪** 先生

- 日本語での読み書きや学習習慣を少しずつ身につける。
- 海外で培った語学力や多様な価値観を大切にする。
- 帰国後の英語力の保持向上には、保護者による積極的な働きかけと地道な努力が必要であることを、保護者が理解する。

日本の学校生活がどういうものかを親子で話してみましょう。

日常会話と、日本語で学習できることは別の力です。

サレジアン国際学園小学校

久保 敦 副校長

- 帰国が見えてきた段階で、進学先の学校に関する情報を集めておく。
- 海外で通っていた学校の成績表や在籍証明書、学習した内容がわかる資料などを整理しておく。
- 「英語力を伸ばす」と「日本語で学びを深める」ことは、相反するものではないことを意識する。英語力と並行して、日本語での読書や会話、学年に応じた漢字や文章の読み書きにも、無理のない範囲で取り組む。

一時帰国時やオンラインで情報収集しましょう。

ローラス・インターナショナルスクール・オブ・サイエンス

Donna van Heyningen 校長

- 一時帰国のタイミングで、関心がある学校の行事やスクールツアーに参加する。
- 学校見学することで、納得して志望校を選ぶ。


ローラス・インターナショナルスクール・オブ・サイエンス


昭和女子大学附属昭和小学校


啓明学園初等学校